

## Press Information

2018 年 8 月 9 日

### 2018 年 7 月 15 日（日）よりリニューアルした高級和食器 ベトナム航空が食器制作者の想いを WEB 上で公開 ～日本－ベトナム路線で行う新たな試み～

ベトナム航空 日本支社（所在地：千代田区霞が関 1-4-2 6F、日本地区総支配人：ヴー・グエン・クォイ）は、先日のリリースにてご案内のとおり、2018 年 7 月 15 日（日）より、ベトナムと日本国内の 5 空港（羽田、成田、関西、中部、福岡）を結ぶベトナム航空の新型機ビジネスクラスにて、洋食器メーカーで知られる株式会社ノリタケカンパニーリミテド（本社：愛知県名古屋市西区則武新町 3-1-36、代表取締役社長：加藤博、以下 ノリタケ）の食器を和食に導入いたしました。

これは近年、ベトナム航空におけるサービス品質改善の一環です。今回はその新しい取り組みを共に実現したノリタケのデザイン担当者から、ベトナム航空並びに利用されるお客様に向けて寄せられたメッセージを WEB で公開するとともに、この場にてその一部をご紹介します。



Q：貴社の食器の特徴についてお聞かせください。

「当社は主に白色硬質磁器（白磁）とボーンチャイナを製造・販売しておりますが、特に品質が高いということでお客様からはご好評いただいております。釉面が滑らかな生地、鮮やかな加飾技法による絵付けが特徴です。当社は 1914 年に日本で初めて白磁による洋食器ディナーセットを完成させた企業でありますので、技術的なノウハウの蓄積も多くございます。」

Q：貴社の食器が、多くの 5 つ星エアラインに採用されている理由についてお聞かせください。

「品質に裏付けられた信頼、について評価いただいているものと思います。」

品質については、当社として自信を持っているポイントです。発色、商品サイズ等の見た目の管理面だけでなく、業務使用に耐えうる一定の保証性を保持している、環境に悪い有害物質（鉛など）の使用を前提とした商品開発・製造を行わない、法律を無視したような労働環境で商品を製造していないなど目に見えない部分も含まれています。コンプライアンスが重要視されている昨今、5つ星エアラインにとって、当社が安心してビジネスができる取引先ということも、当社製品を採用いただいている理由の一つだと考えております。

商品開発、製造から出荷後のアフターケアまで、自社で一貫して対応できることも評価いただいております。」

Q：今回ベトナム航空ビジネスクラスに導入された食器は、ベトナム航空のために特別にデザインされたものでしょうか？

「はい、ベトナム航空様が和食サービスの準備をしているというお話をいただき、様々なオリジナル提案をさせていただきました。

ベトナム航空様とデザイン要望や食器の使い方を細やかに打合せしながら作り上げた特別なデザインです。」



商品開発部デザイングループ チーフデザイナー 井田浩史 氏

Q：今回の食器制作にあたり、テーマやコンセプトをお聞かせください。

「今回のデザインではベトナム航空様の意向を聞くことが大変重要で、テーマやコンセプトは最初から明確にあったわけではありませんでした。

何度かデザインを提案していく中で、コンテンポラリーな表現でデザイン化した蓮の花の画をいくつかのアイテムに入れてほしいこと、賑々しくハレのデザインにしてほしいとの意向をうけました。

そこで、縁起の良い吉祥模様や格式高い日本の伝統模様で日本らしさを随所に入れ込みつつ、ベトナム航空のコーポレート・アイデンティティである蓮の花、並びにコーポレート・カラースキムで統一感を持たせた食器にまとめるアイデアにたどり着きました。」

Q：今回の食器の中で、特にお気に入りのデザインはありますか？

「Appetizer Dish（前菜用の器）と Main Dish（メインディッシュ用の器）です。

日本らしさをどうお伝えすれば良いかについて、何度か打ち合わせをさせていただく中で、着物というキーワードがベトナム航空様のスタッフ皆さんと私の中で、素直に受け入れられたように感じました。そのキーワードとなった着物柄をうまく取り入れることが出来たデザインだと考えています。

Appetizer Dish と Main Dish はお食事の中で重要なポジションということもあります。どんな料理が盛りつけられるかも、デザイナーとして楽しみにしています。」

Q：ベトナム航空で使用される食器と、他社用の食器との大きな違いは何でしょうか？

「通常は我々日本人が一般的に想像する和食器をベースに提案するのですが、ベトナム航空様との打ち合わせの中で、和柄一辺倒ではなく、CI（コーポレート・アイデンティティ）として使われている蓮の花のデザインをさりげなく入れるなどして、和（日本）とベトナムの融合がテーマとなったところが他社向け食器との大きな違いだと思います。」

Q：ベトナム航空を利用するお客様に対して、デザイナーとして伝えたいメッセージをお聞かせください。

「先ほどご説明申し上げたような、器の作り手が込めたデザインの意味をご理解いただくことで、ベトナム航空様でのお食事体験が、お客様にとってより特別なものになれば、デザイナーとして心から幸せです。」

インタビューの一部は下記 URL にてご覧いただけます。

<https://youtu.be/ybSSbldGbmE>



右：ベトナム航空名古屋支店長 ホー・スアン・トアン

#### <ベトナム航空について>

ベトナム航空は、1993年4月にベトナムの国営航空会社として設立し、1995年5月27日にベトナム国内の航空企業20社が集まり、航空業務を本業とするベトナム航空が誕生しました。現在、国際線では東京、パリ、シドニーなど世界29都市に就航し、アジアを代表する航空会社の一社と位置付けられています。日本には1994年、関西国際空港とホーチミン間に初めて就航し、現在では、日本国内の4都市（東京・大阪・名古屋・福岡）と、ハノイ、ホーチミン間を結んでいるほか、成田ーダナン間でも運航しています。ベトナム航空独自の自社運航のみで、週最大70便、共同運航便を含めて週最大99便と、日本ーベトナム間を結ぶフライトでは、最も便数の多い航空会社となっています。

<https://www.vietnamairlines.com/jp/ja/home>

---

本件に関する報道関係者の皆様からのお問い合わせ先

ベトナム航空 広告宣伝部 小川

Email: [ogawar@vietnamairlines.com](mailto:ogawar@vietnamairlines.com)

電話: 03-5157-7405 FAX: 03-3508-1480